

「じょもランド」を含む応募作品一覧

愛称	愛称の説明や込められた思い
- Aomori JOMOLAND -	縄文について沼る、興味のある人達を「ジョモラー」として、津軽弁の「わんど：私たち」と併せてみました。Landには土地、土壌、陸地の意味も込められているので、青森県内の8つのそれぞれの遺跡も意味しています。
jomojomoランド	みんなが読めて何かな？と軽い感じで入館できるようにかわいい名前にしました。
JOMOらんど	縄文をローマ字表記した時の4文字を使いました。海外から訪れた観光客にも親しんでもらえるようにです。ランドはこの施設がみんなに楽しんでもらえるような場所になればいいなという願いをこめました。
JOMOランド	シンプルな方が記憶に残りやすく、愛称を喋る際に「じょうもん」よりも「じょも」の方が語感がいいから「JOMOランド」にしました。慣れ親しみやすい名前ですさらに縄文について興味を持つ人が増えて欲しいです
あおもり じょもランド	青森を代表するビックな施設になってほしいという願いをこめました。縄文を親しみやすく、「じょも」と表現し、「ランド」をつけることで、小さいお子様にとっても行きたくなるような愛称にしました。
あおもりDOKIDOKIJOMOランド	誰もが来たくなるような楽しいイメージを持ってほしいので、テーマパークのような名称を考えました。楽しみな気持ちを表した「ドキドキ」と「土器」を掛け合わせています。
あおもり縄文の国 JOMOLAND	一目みてわかりやすく、青森と縄文というフレーズは絶対入れた方がいいと思いました。JOMOLANDは親しみやすく呼びやすく、来場する人がワクワクする場所になると思われました。
あおもり縄文の森 じょもらんど	小さなお子様でも覚えやすいように敢えてシンプルにしました。気軽に立ち寄れる雰囲気に合わせて、柔らかい感じが良かったのでこの愛称にしました。
じょもらんど	子供たちが行きたくなるような場所、思わず口にしたくなるような呼びやすい名称を考えました。
じょもらんど	大人から子供まで楽しめる、縄文時代を身近に感じられるような親しみのある施設になってほしいので、「縄文ランド」に親しみを込めて「じょもらんど」としました。
じょもランド	じょもランドという名前にしたのは、ランドのように、遊園地のように楽しみながら知恵をつけたいと思ったからです。

じょもランド	みんなに親しみがある、言いやすい言葉を考えて、縄文をじょもに。ワクワクしそうな場所という意味を込めて、ランドをいれてみました。
ジョモランド	青森の縄文文化をテーマパークのように楽しんで勉強したり、体験したりしてほしいからこの名前をつけました
じょもランド	縄文を「じょも」で表し、さらに「ランド」をつけて、小さい子共でも覚えやすい名前にしました。もし採用されたら、「じょもっち」というマスコットキャラクターを作りたいと思っています。みんなに親しみやすいキャラクターをつくり、縄文時代についてみんなが楽しく学べる場所になればいいと思っています。
じょもらんど	縄文とランドを合成した造語。
じょもらんどINあおもり	THE青森愛という感じでかわいらしさを表現しました！
じょもらんど青森	縄文とランドを合成した造語。
青森縄文ひろば JOMOランド	この愛称にした理由は、縄文を通じて、JOY(楽しむ)、MORE(もっと)と感ずることと、縄文の歴史をもっとたくさん知ってほしいという思いを込めて、この愛称にしました。